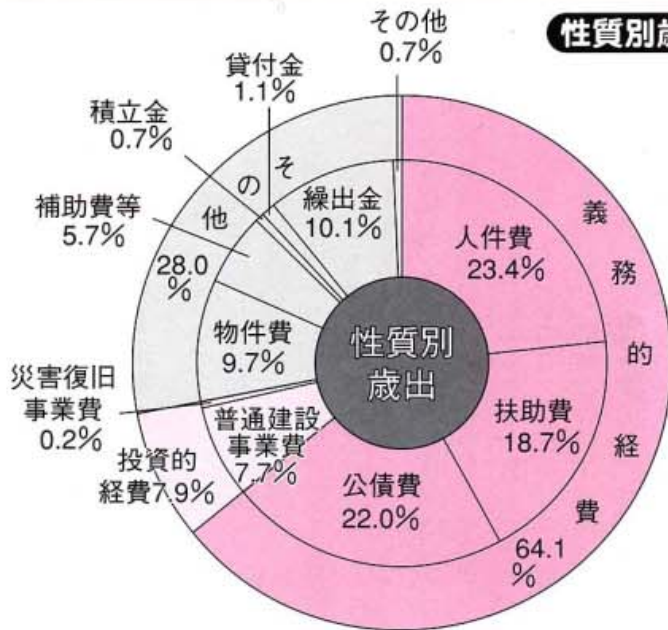


## 性質別歳出の内訳



義務的経費	112億 8,854万 1千円
人件費	41億 1,179万 1千円
扶助費	32億 9,743万 5千円
公債費	38億 7,931万 5千円
投資的経費	13億 8,513万 2千円
普通建設事業費	13億 5,583万 8千円
災害復旧事業費	2,929万 4千円
その他	49億 4,522万 9千円
物件費	17億 118万 8千円
補助費等	10億 699万 3千円
積立金	1億 3,134万 9千円
貸付金	1億 9,165万円
繰出金	17億 8,308万円
その他	1億 3,096万 9千円
計	176億 1,890万 2千円

## 市民の税負担は？

1人あたりの市税負担額 117,845円 (1世帯あたりの負担額 285,188円)

固定資産税 67,097円 (162,378円)	市民税 40,874円 (98,915円)	たばこ税 7,638円 (18,485円)	軽自動車税 2,179円 (5,274円)	その他 57円 (136円)
--------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------

\* ( ) 内は1世帯あたりの負担額です。

平成18年3月31日現在の南国市人口50,472人、世帯数20,856世帯で計算したものです。

## 人権と共生の時代⑥

## 人権教育シリーズ

おはようございますー今朝、家族で、あるいは通勤・通学の途中で、職場で、朝一番の出会いにあいさつをしましたか？

現代は人間関係の希薄化が言われています。読売世論調査によると、人付き合いや人間関係が希薄になっていると思う人は全国的に広がりを見せ、大都市よりも中小都市や町村で急激に増えているそうです。

その理由として挙げられているのは、「人と接するのを煩わしいと思う人が増えた」「人の立場を理解できない人が増えた」「テレビゲームやパソコンなどで一人の時間を過ごす人が増えた」などです。希薄化によりどんな悪影響が出るのかについては、「自己中心的な人が増える」「社会のモラルが低下する」「地域のつながりが薄れる」などが挙げられています。

技術の進歩や社会の変化により、人と関わらなくても生活していくことができるようになっていくことも確かです。そのことにより、人間関係づくりが下手、苦手になりつつあるとも言えるのではないのでしょうか。人間関係が希薄になったことが原因と思われる、不幸なニュースが後を絶ちません。こうした現状の下、あいさつ運動に取り組む地域や学校があります。2001年の高知西南豪雨で未

## 「あいさつ」

明にもかかわらず一人の犠牲者も出さなかったのは、「誰がどこに寝ているかも分かっている」というほどに地域のつながりがしっかりとっていたからです。今世紀半ばと予測される南海地震では、きつと人のつながりの温かさが再認識されるでしょう。

あいさつは人間関係の潤滑油ともなり、関係づくりの基本です。あいさつをされて不快に思う人はいないでしょう。「おはようございます」が人間関係をスムーズにし、「ありがとう」は、親密さを増す働きもっています。また、「①つれいします」「②すみません」の一言が、関係の悪化を未然に防いでくれます。人権文化の創造は、人と人との心のキャッチボールから始まります。無味乾燥な日々ではなく、いつも心にオ・ア・シ・スを！

\*このシリーズは、私たち一人ひとりが、自分を大切に、互いに認め合って、かけがえのない人生を幸せに生きるために、日々の暮らしの中で、人権について多様な視点で考えることを目的にしています。

※お問い合わせは、  
人権啓発広報委員会  
(☎880・6568)まで

# 我がまちの名工4人

## 南国市技能功労者表彰



昨年11月22日、永年同一職業に従事し、優れた技能を社会発展のために役立て、功績のあった技能職者を顕彰する「平成18年度南国市技能功労者表彰式」が、グレース浜すしで行われました。  
受賞者の皆さんをご紹介します。  
(順不同)

### 銃製造修理工／経歴47年



西 憲一さん (大桶甲)

昭和34年に山内銃砲製作所に弟子入りし、銃砲製造修理技術を習得し、昭和50年に独立することができました。県射撃協会や県猟友会員の協力を得て今日まで頑張っておりまいた。今回の受賞を励みにして射撃選手の裏方として、また、猟友会員の事故防止に努めていきたいと思っております。



### 鍛造工／経歴35年



思い起こせば22歳から鍛造業界に入り刃物造りに携わるようになって、はや35年が経ちました。この間、周囲の皆さまに支えられ今日まで頑張ってきました。これからも土佐打刃物400年の歴史を絶やさないように、この賞を励みに微力ではありますが後継者育成や伝統技術の伝承に一層精進していく所存であります。



宗石 富男さん (日吉町)

### 金属工作機械工／経歴40年



大和田 保和さん (大桶甲)

昭和41年に協和農機(昭和52年にセイレイ工業に社名変更)入社以来、主に農業機械部品の機械加工を担当してきました。この度の受賞はこれらの技能・技術を共有する職場を代表していただくものと思っております。これからも新しい技術を習得し、後輩たちに「物」造りの愉しさを伝えたいと考えています。



### 植木職・造園師／経歴60年



昭和21年より造園業を始め、昭和40年に毘沙門造園を設立して現在に至っております。将来、市を緑と花の都として全国に向けて発信したいと思っております。受賞を機に老骨にむち打って「花の南国市」実現に向けて頑張っていきます。

「里山に四季の花咲く夢見つつ」



山崎 美奈男さん (岡豊町)